

■ 学部等

教育学部 1課程 12講座	学校教育教員養成課程	講座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
		附属施設	附属特別支援教育センター 附属学習協創開発研究センター 附属小中学校

地域科学部 2学科 4講座	地域政策学科	講座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造

医学部 2学科	医学科	学科目	生理学, 生化学, 人体構造学, 神経構造機能学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 循環器・呼吸器・腎尿路学, 消化器・検査・血液腫瘍学, 内分泌代謝学, 脳神経学, 成育学, 生命倫理・法医学, 臨床遺伝・臨床倫理, 皮膚科学, 免疫応答学, 感覚器医学, 運動器学, 麻酔疼痛制御・救急災害, 画像診断・放射線治療, 精神医学, 地域・産業保健学
	看護学科	講座	総合基礎科学, 地域生涯発達看護学, 地域健康支援看護学
		附属施設	附属病院 医学教育開発研究センター (医学教育共同利用拠点) 附属地域医療医学センター

工学部 4学科 9コース	社会基盤工学科	コース	環境, 防災
	機械工学科		機械, 知能機械
	化学・生命工学科		物質化学, 生命化学
	電気電子・情報工学科	電気電子, 情報, 応用物理	
		附属施設	附属インフラマネジメント技術研究センター 附属応用気象研究センター 附属プラズマ応用研究センター ものづくり技術教育支援センター
	共同研究講座		スマートグリッド電力制御工学共同研究講座

応用生物科学部 2課程 1学科	応用生命科学課程	コース	分子生命科学, 食品生命科学
	生産環境科学課程		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
	共同獣医学科		附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物管理学研究センター 附属共同獣医学教育開発推進センター 附属家畜衛生地域連携教育研究センター

社会システム経営学環



■ 大学院

教育学研究科	学位課程	教職実践開発専攻	コース	学校管理職養成, 教育実践開発, 教科指導能力開発			
	修士課程	教育臨床心理学専攻					
地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境			
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化			
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	講座	生命原理解	解剖学, 生理学, 分子病態学, 神経生物学, 薬理病態学, 再生機能医学		
				生命秩序学	高次神経形態学, 細胞情報学, 形態機能病理学, 法医学, 生命機能分子設計学		
				生命関係学	寄生虫学・感染学, 病原体制御学, 腫瘍病理学, 疫学・予防医学, 医学系倫理・社会医学, 産業衛生学, 医学教育学, 医療経済学, システム生物学		
				内科学	消化器内科学, 臨床腫瘍学, 循環器内科学, 呼吸器内科学, 血液・感染症内科学, 糖尿病・内分泌代謝内科学, 膠原病・免疫内科学, 腎臓内科学, 総合診療科・総合内科学		
				外科学	心臓血管外科学, 呼吸器外科学, 消化器外科・小児外科学, 乳癌外科学		
				脳神経科学	脳神経内科学, 脳神経外科学, 脳病態解析学 (連携大学院), 精神医学		
				感覚運動医学	整形外科学, リハビリテーション学, 皮膚科学, 形成外科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, 口腔外科学		
				生体管理医学	麻酔科・疼痛医学, 泌尿器科学, 救急・災害医学, 放射線医学, 臨床検査医学, 臨床薬理学, 臨床病理学		
				生殖・発育医学	小児科学, 産科婦人科学		
				看護学専攻	修士課程	看護学専攻	領域
総合基礎科学	生命機能学, 総合科学						
地域生涯発達看護学	母性看護学, 小児看護学, 成人急性期看護学, 成人慢性期看護学, 老年看護学						
地域健康支援看護学	地域看護学, 精神看護学						
実践看護学							
医療者教育学専攻	修士課程	医療者教育学専攻	領域	医療者能力開発学, 医療者教育プログラム開発学, 医療系倫理・社会医学教育学, 総合病態内科学, 地域医療教育学, 医師育成学			
				寄附講座	循環呼吸先端医学講座 (岐阜県厚生農業協同組合連合会), 地域腫瘍学講座 (岐阜県厚生農業協同組合連合会), がん先端医療開発学講座 (株式会社ヤクルト本社), 地域医療運動器医学講座 (関ヶ原町), 関節再建外科学先端医療講座 (京セラ株式会社, ジンマー・バイオメット合同会社, スミス・アンド・ニュー株式会社), 先端画像開発講座 (岐阜県厚生農業協同組合連合会), 低侵襲・がん集学的治療学講座 (岐阜県厚生農業協同組合連合会, 小野薬品工業株式会社, 中外製薬株式会社), 地域医療放射線医学講座 (高山赤十字病院), 虐待に関する救急医学講座 (岐阜市民病院), 感染症寄附講座 (岐阜県), 岐阜県ロコモ予防治療医学講座 (岐阜県厚生農業協同組合連合会), 臨床解剖開発学講座 (岐阜県厚生農業協同組合連合会), 先端ゲノム医療開発学講座 (中部薬品株式会社)		
					共同研究講座	ファージバイオロジクス研究講座 (アステラス製薬株式会社)	
工学研究科	博士課程	工学専攻					
		岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻 岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻					
自然科学技術研究科	修士課程	生命科学・化学専攻	領域	生命工学創業, 生命工学化学, 分子生命科学, 食品生命科学			
				生物生産環境科学専攻		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学	
				環境社会基盤工学専攻		環境, 防災	
				物質・ものづくり工学専攻		物質化学, 設計生産	
				知能理工学専攻		知能機械, 知能情報学, 応用数学物理	
				エネルギー工学専攻		エネルギー変換, 電気エネルギー	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻							
共同獣医学研究科	博士課程	共同獣医学専攻	講座	基礎獣医学, 病態・応用獣医学, 臨床獣医学			
連合農学研究科	博士課程	生物生産科学専攻	連合講座	植物生産管理学, 動物生産利用学			
		生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学			
		生物資源科学専攻		生物資源利用学, スマートマテリアル科学, 生物機能制御学			
		岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻					
連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	研究領域	生命分子科学, システム生命工学			
			寄附講座	紅豆杉研究室 (株式会社紅豆杉)			
		医療情報学専攻	共同研究講座	多段階重合発酵機能性共同研究講座 (株式会社日本自然発酵)			
			研究領域	生命情報, 生体制御			

■ 図書館

蔵書数

2022年4月1日現在

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
図書館	534,134	217,942	752,076	9,762	3,871	13,633
医学図書館	82,824	86,439	169,263	1,525	1,802	3,327

ElsevierやSpringer等の電子ジャーナル約9,200タイトル, ネットライブラリー等の電子ブック約22,000タイトル, ScopusやSciFinder-n (Academic)等のデータベースを導入している。



受付カウンター 入館ゲート

開館時間・休館日

区分	月～金曜日	土曜日	日, 祝日(試験期間のみ)	休館日	
図書館	9:00～20:00*1)	10:00～17:00	10:00～17:00	日曜日, 祝日 *2)	夏季一斉休業日(8.15～16) 年末年始(12.28～1.4)
医学図書館	8:30～20:00*1)	10:00～18:00		日曜日, 祝日	夏季一斉休業日(8.15～16) 年末年始(12.28～1.4)

備考 休館日若しくはは開館時間を変更する場合がある。 *1)一部平日に短時間開館あり(開館予定表は図書館ホームページにて)。 *2)試験期間を除く。

利用状況(2021年度)

区分	図書館	教職員			学生		計	
		蔵書スペース他	ラーニング・コモンズ *1)	医学図書館	計	学外者		
入館者数(人)		5,257	116,374	829			122,460	
		6,082	22,142	1,294			29,518	
計								151,978
貸出冊数(冊)	図書館	4,636	33,673	574			38,883	
	医学図書館	792	7,065	1			7,858	
	計	5,428	40,738	575			46,741	
文献複写数(件)	図書館	1,789		992			2,781	
	医学図書館	786		1,981			2,767	
	計	2,575		2,973			5,548	

備考 開館日数 図書館: 279日, 医学図書館: 287日
*1) 移動可能な机・椅子, 無線LAN等を備え, グループ学習が可能な学習支援の場。2021年度は感染症対策により使用休止。



本館

■ アーカイブ・コア

アーカイブ・コアは岐阜大学創立70周年記念事業として図書館内に整備され, 「PRAETER(プラエテール)」と「FUTURUM(フトゥールム)」の2つのゾーンから構成されている。

収蔵資料の例

教育学部 所蔵資料	世界最古級の印刷物「百万塔」, 加納藩小川家甲冑
応用生物科学部 所蔵資料	カイコの解剖模型, 農作物害虫図
工学部 所蔵資料	プラズマ CVD装置, フレキシブル太陽電池
医学部・同附属病院 所蔵資料	教育解剖図(丹下年男作), 日本画(守屋 多々志作)
地域科学部 所蔵資料	自治体史, 各種行政資料, 郷土資料 (所蔵場所: 地域資料・情報センター)

備考 上記の他, 岐阜県内出土の考古資料等の古文書(90,000点超), 写真や絵画等の美術作品(約60点), 剥製や卵等の標本(約1,100点), 人体解剖図(534点)を保管している。



PRAETER内 剥製標本群

■ 医学部附属病院

医学部附属病院は、県下唯一の大学医学部附属病院、特定機能病院として先進・高度医療を担い、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患の5疾病及び救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療の5事業に積極的に取り組んでおり、難病疾患やがん、肝炎、AIDS、原子力災害、アレルギー疾患等の診療拠点病院に指定されている。その他、高度救命救急センター、一次脳卒中センターにも指定されている。



医学部附属病院

2019年1月に、岐阜医療圏地域コンソーシアムが設立され、大規模データ統合が始まり、2020年4月の東海国立大学機構設立とともに東海地域の医療データ統合が開始されている。

2020年11月に、岐阜県難聴児支援センターが設置されるなど、さまざまな院内外の連携を図るとともに、院内においても診療科の垣根を超えたチーム医療を推進・実施している。

さらに2022年4月に感染制御室、医療の質管理室、総合臨床研修部、メディカルスタッフ研修支援センターを新たに設置するなど、より安全で質の高い医療を目指している。

本院はポストコロナ時代に適応した「スマートホスピタル」の実現と「社会と医療のニーズに応える病院」を目指しており、特に安心・安全を基盤とした特定機能病院として、より先進的な医療を提供すると同時に地域に密着した病院としての役割を果たすべく、医療安全、臨床研究の推進、国際的にも活躍できる人材育成、よりよい医療の提供に取り組んでいる。

患者数(2021年度)

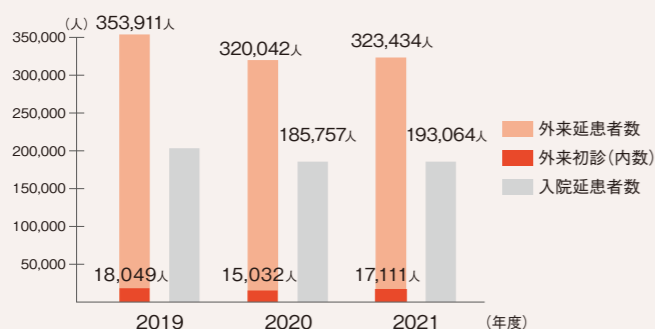
入院	患者延数	193,064人
	1日平均患者数	528.94人
	病床稼働率	86.1%
	入院稼働日数	365日

外来	初診患者数	17,111人
	再診患者数	306,323人
	計	323,434人
	一日平均患者数	1,336.50人
	外来診療日数	242日

診療科及び病床数

区分	病床数	区分	病床数
第1内科	60	耳鼻咽喉科	30
血液内科		形成外科	11
第2内科	51	皮膚科	21
第3内科	21	泌尿器科	37
脳神経内科	20	精神科	28
総合内科	12	小児科	1
心臓血管外科		放射線科	1
呼吸器外科	103	麻酔科疼痛治療科	1
消化器外科		歯科口腔外科	8
乳腺外科		高次救命治療センター	30
産科婦人科	32	ICU	6
整形外科	49	新生児集中治療部	12
脳神経外科	38	共通	29
眼科	14	計	614

患者数の推移



中央診療施設等		
検査部	がんセンター	ベッドコントロールセンター
手術部	エイズ対策推進センター	術前管理センター
放射線部	肝疾患診療支援センター	入院センター
材料部	リハビリテーション部	呼吸器センター
輸血部	成育医療センター	アレルギーセンター
病理部	医療機器センター	国際医療センター
総合診療部	高次画像診断センター	循環器センター
医療情報部	新生児集中治療部	炎症性腸疾患センター
光学医療診療部	オートプシー・イメージングセンター	難聴児支援センター
高次救命治療センター	脳卒中センター	ドクタークラーク部
医療連携センター	ゲノム疾患・遺伝子診療センター	栄養管理室
生体支援センター		

医療安全管理室	医師育成推進センター
薬剤部	看護師特定行為研修センター
看護部	内視鏡外科手術トレーニングセンター
診療録管理室	メディカルスタッフ研修支援センター
感染制御室	先端医療・臨床研究推進センター
医療の質管理室	臨床倫理室
総合臨床研修部	さわやかサービス推進室

■ 応用生物科学部附属動物病院

応用生物科学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、2010年4月に新病棟とリニアック棟、2012年4月にMRI棟を増築した。新病棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。また、リニアック棟には国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器、MRI棟には磁気共鳴断層装置(MRI)を導入した。本院の特色は、伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科、整形外科と産業動物を診療する産業動物科を設置していることである。内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科、整形外科には東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から紹介を受け、年間約11,000件の診療を行っている。一方、産業動物科は、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。



診療科及び病床数

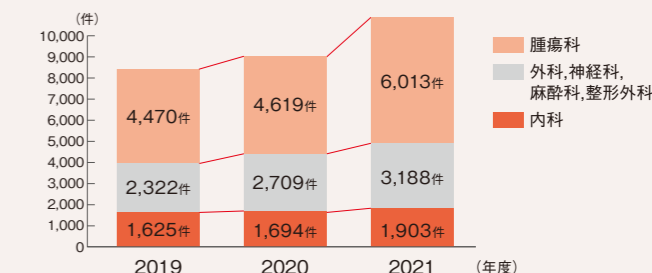
名称	床面積(m ²)	主な施設
新病棟	911	1階：診察室(7室)、超音波検査室、処置室、第1検査室、薬室、受付事務室 2階：陽圧手術室、一般手術室(3手術台)、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室(2室)
リニアック棟・MRI棟	327.55	高エネルギー型放射線治療室、磁気共鳴断層検査室、操作室
本館(1階)	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科口腔外科診療室、X線・画像解析室、第2検査室、病院長室・相談室、動物病院事務室
CT棟	47	X線CT撮影室、操作室
動物管理棟	260	動物入院室、供血動物室、医局
合計	1,983.55	

2022年4月1日現在

動物種類別の診療件数(実数)

年度	伴侶動物(件数)			計	産業動物(件数)					総計
	犬	猫	その他		牛	馬	豚	鶏・山羊	計	
2019	6,657	1,756	1	8,414	2	1	0	0	3	8,417
2020	7,560	1,459	1	9,020	0	2	0	1	3	9,023
2021	9,111	1,980	1	11,092	3	2	0	7	12	11,104

内科、外科、神経科、麻酔科、整形外科、腫瘍科の診療件数(実数)の推移



■ 医学教育共同利用拠点

医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する全国共同利用施設として2001年に設立された。2010年4月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され、2020年4月からさらに5年間の拠点継続が承認された。拠点事業として毎年3回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。また、全国の医学部・医療系教育機関でリーダーとなる人材を育成するプログラムを開講し、修了者を「MEDCフェロー/アソシエイト」として認定している。

教育開発学部門では医療者教育の教育法・プログラム・評価法の開発に取り組み、指導者養成部門では、医療指導者のキャリア支援及び教育力の開発に取り組んでいる。プロフェッショナル教育、アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育、医療者教育学(修士課程)と医学教育学(博士課程)の大学院教育にも力を入れている。

[教育開発学部門、指導者養成部門]



チュートリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルスラボ実習

■ 共同教育研究施設等



01	03
02	04

01 地域協学センター

地域協学センターは、「地域活性化の中核拠点」として地域社会づくりに貢献する大学を目指して、地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて貢献できる「次世代地域リーダー」の育成（次世代地域リーダー育成プログラム）、地域の課題解決に向けた研究の推進（地域志向学術研究）、地域の課題解決に向けて多様な人びとが対話し、新たな価値を創造する「対話・共創の場」づくり（ぎふフューチャーセンター）等に取り組んでいる。さらに、岐阜県と共同で設置した「ぎふ地域学校協働活動センター」におけるコーディネーターや「社会教育士」の育成、岐阜県や岐阜県教育委員会との連携による高大連携事業も展開している。このような取組みを推進するために、地域・自治体・教育機関・地元産業界・金融機関・市民活動団体等との協働体制を築き、地域の窓口としての役割をも担っている。

02 流域圏科学研究センター

岐阜大学の環境科学研究の中核として、流域圏における植生系、河川水系、土地地盤系などの多様な自然科学的・人為的事象の解明、および流域圏環境保全・防滅災に関する学術研究・技術開発を行うことによって、流域圏の保全と持続的な発展に資する学術研究分野「流域圏科学」を国内外の大学や研究機関、関連コミュニティ、地域社会と連携しながら醸成している。

[森林機能研究部門、水物質動態研究部門、高山試験地、流域水環境リーダー育成プログラム推進室、共同研究支援室、地域協働推進室]

03 グローカル推進機構 日本語・日本文化教育センター

外国人留学生への日本語・日本文化に関する教育、日本人学生への国際理解に関する教育を行っている。さらに、全学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し、留学生交流を中心に大学の国際化に寄与している。またセンターには、「交流ラウンジ」があり、ラウンジでは外国人留学生と日本人学生との交流や学習、チューターによる学習の支援、留学等の情報収集の場として多様な活動を通じ、本学の国際交流の促進を図っている。

04 保健管理センター

学生及び職員の健康増進、ならびに学生の安全衛生環境保持・改善を図るために、学内の保健計画を立案し、実践している。学生の健康診断の実施と生涯の健康を守るための保健指導、修学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動と、その業務は多彩である。特に、学生相談（メンタルヘルス）、障害学生支援、留学生の健康管理の充実を図っている。

学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働し、その中核として大学生の健康管理に関する研究会も主催している。

■ サテライトキャンパス等

岐阜大学サテライトキャンパス【2012年10月設置】 （岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階）

サテライトキャンパスは、JR岐阜駅に直結しており、講義やゼミ、講演会、研究発表等に使用可能な多目的講義室、学生が自学自習できるラーニングcommons、企業相談等に利用できるミーティングルームを備えている。本学学生・教職員の他、卒業生、地域の方が利用でき、本学における教育研究の推進、学生の活動、地域貢献、情報発信のための活動拠点である。



岐阜スカイウイング37

岐阜大学旧早野邸セミナーハウス【2013年4月設置】 （大垣市昼飯町1777）

旧中山道沿いの大垣市昼飯町にある本学第7代学長早野三郎氏ゆかりの家を活用した本学の活動拠点である。授業、講演等に使用可能なセミナー室、地域の歴史と文化に係る資料や学生の制作物等を展示する展示室、フィールドワークの活動拠点として利用できるミーティング室を備えている。



旧早野邸セミナーハウス